

令和 6 年度 須坂創成高校学校評価・学校関係者評価表

※評価の基準 A:十分に達成された B:ある程度達成された C:まだ不十分であるので来年に期待する (各評価については、A～Cのいずれかで評価してください)

| 学校教育目標                                                                                                                        |      |              |      |                                                  |      | 重点目標（中・長期的目標）                                                                                                                                                                                                        |   |   |         | ご意見・ご提言                                                                                           |                                                                                              |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|------|--------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 1 産業構造の変化に柔軟に対応し、職業人として必要とされる専門力と創造力を兼ね備えた地域産業の担い手を育成する。<br><br>2 生徒一人ひとりが輝く「明るい学園」を創造し、思いやりの心を大切にするひとづくりをとおり、社会に貢献できる人を育成する。 |      |              |      |                                                  |      | ①総合技術高校としての特色を生かし、農工商の枠を超えたより広い専門性と柔軟な実践力を養成する。<br><br>②地域に根ざした信頼される学校づくりをすすめて、地域社会を担う人を育成する。<br><br>③自らに誇りを持ち、ルールやマナーを大切にする誠実で品格ある人を育成する。                                                                           |   |   |         | ・地域の産業を担う人材育成を引き続きお願いします。<br>・生徒の持つ良さを伸ばしてください。<br>・地域と密に連携し、小学校や関係する所と繋がりながら運営されていて、今後も十分に期待できる。 |                                                                                              |         |
|                                                                                                                               |      |              |      |                                                  |      | 今年度の重点目標                                                                                                                                                                                                             |   |   |         | ご意見・ご提言                                                                                           |                                                                                              |         |
|                                                                                                                               |      |              |      |                                                  |      | ①総合技術高校の特色を生かし、学科の枠を超えた学びを充実させる中で幅広い視野を持った生徒の育成を目指す。                                                                                                                                                                 |   |   |         | ・学科を越えた生徒間の交流が図れるようお願いします。<br>・オリジナリティのある創造力が育成されていると思う。<br>・学科の枠を超えた取組は、他にない大きな特色でとても良いと思う。      |                                                                                              |         |
|                                                                                                                               |      |              |      |                                                  |      | ②基礎学力の定着、多様な体験的・実践的学習を一層充実させるとともにキャリア教育を推進し、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。                                                                                                                                                      |   |   |         | ・地域の経営者と接する機会づくりをお願いします。                                                                          |                                                                                              |         |
|                                                                                                                               |      |              |      |                                                  |      | ③ルールやマナーの遵守、他者を思いやる人権意識の涵養、いじめや体罰のない安全・安心な学校づくりを目指す。                                                                                                                                                                 |   |   |         | ・街等で見る創成高生の明るさから、学校生活が充実していると感じられる。                                                               |                                                                                              |         |
| 領域                                                                                                                            | 対象   | 評価項目         | 該当学年 | 評価の観点                                            | 自己評価 | 成果と課題、改善策・向上策                                                                                                                                                                                                        |   |   | 評価<br>A | 評価<br>B                                                                                           | 評価<br>C                                                                                      | ご意見・ご提言 |
| 教<br><br>育<br><br>活<br><br>動                                                                                                  | 教育課程 | ① 産業基礎       | 1    | 産業人としての基礎力を養成するための授業が実施できたか。地域産業の理解をすすめることができたか。 | A    | 授業をとおして、地域産業理解のきっかけづくりができ、地域資産の掘り起こしを目的とした地域学習や外部講師の講演により、産業人としての基礎力を身に付けるとともに、自らのキャリアプランの確立につなげることができた。<br>さらに、授業内容の充実のためにシラバスの見直しに着手していきたい。                                                                        | 7 |   |         |                                                                                                   | ・産業分野における技術革新(例えばスマート農業等)が進んでいるので、生徒に夢や希望を与えられるような話題をできるだけ伝えていただきたい。<br>・明確な目的意識があり、素晴らしいです。 |         |
|                                                                                                                               |      | ② コース選択      | 2・3  | コース選択に対する適切な指導ができたか。                             | A    | ・農業:1年総合実習にて各コースを体験し、説明会、面談をとおし適切な選択ができた。保護者向けにも説明動画の配信を実施した。次年度以降も継続して取組んでいきたい。<br>・工業:工業生産技術の学習内容からコースの特色を理解させ、説明会を行いきめ細やかな指導ができた。次年度以降も継続して取組んでいきたい。<br>・商業:各コースの説明会を実施し、自己の将来に繋げる適切な指導が実施できた。次年度以降も継続して取組んでいきたい。 | 7 |   |         |                                                                                                   | ご意見・ご提言はありませんでした。                                                                            |         |
|                                                                                                                               |      | ③ 学科連携       | 2・3  | 他学科の生徒の学習に資するシラバスが作成され実施できたか。                    | B    | 学科連携科目を中心に連携を進めることができた。2年学科連携科目は実施2年目で改善点も見られているため、来年度はシラバスだけではなく、科目編成も含めた見直しに着手していきたい。                                                                                                                              | 5 | 2 |         |                                                                                                   | ・連携がさらに新しい発見につながる結果を産んでいる。<br>・よりよい科目編成により、連携を進めてほしい。                                        |         |
|                                                                                                                               | 学習指導 | ④ 基礎学力の充実    | 全    | 学力補充が計画され、実施できたか。                                | B    | 年2回実施した基礎力診断テストの結果を生徒面談に活用し、学力向上に役立てることができた。さらに各教科で補習や追試などの学力補充が行われ、次年度以降も継続して取組んでいきたい。                                                                                                                              | 6 | 1 |         |                                                                                                   | ご意見・ご提言はありませんでした。                                                                            |         |
|                                                                                                                               |      |              | 全    | 家庭学習の時間をもつための取組みができたか。                           | B    | 各教科に任せている部分が多くあり、学習指導委員会として家庭学習を充実させるための方策を、教科と連携して進めていきたい。                                                                                                                                                          | 5 | 2 |         |                                                                                                   | ご意見・ご提言はありませんでした。                                                                            |         |
|                                                                                                                               |      | ⑤ 授業方法の工夫・改善 | 全    | 言語活動の充実を図るための実践ができたか。                            | A    | 授業評価アンケートを実施し、その結果を基に授業内容を見直し、基礎学力の定着を図った。読書旬間中に全校で朝読書を実施したり、授業担当者や連携し、学習内容に合わせたオリエンテーションや資料提供を行うことができた。次年度以降も継続して取組んでいきたい。                                                                                          | 7 |   |         |                                                                                                   | ご意見・ご提言はありませんでした。                                                                            |         |
|                                                                                                                               | 生徒生活 | ⑥ 日常的な生徒指導   | 全    | 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に取組めたか。                       | B    | ほとんどの生徒は落ち着いた学校生活を送っている。毎日の朝と昼の立ち番指導が一定の抑止力になっている。係・学年・職員全体の横の連携強化を図り、継続して生徒の意識向上に取組んでいきたい。清掃活動も全員参加の声掛けをしていきたい。                                                                                                     | 4 | 3 |         |                                                                                                   | ・自転車のマナー(ヘルメット着用等)を含め、交通安全対策のさらなる徹底をお願いします。<br>・生徒の身だしなみについて、指導の充実を検討していただきたい。               |         |
|                                                                                                                               |      |              | 全    | 校則を守った身だしなみ指導ができたか。                              | B    | 頭髪や制服の着こなしに、大きな混乱はなかったが、新校への移行も視野に入れつつ、生徒・保護者の意見に加え、時代の変化や性的マイノリティ等にも配慮しながら制服の必要性を検討していきたい。頭髪等、身だしなみが乱れた生徒には改善が図られるよう、その場での注意を行うとともに、家庭の協力のもと継続的に指導していく。生徒会の提案から「生活のきまり」の一部改訂を検討していきたい。                              | 1 | 6 |         |                                                                                                   | ・これまでの当たり前が当たり前でなくなっており、多様性を問われている今、生徒や保護者、地域の声を聞きながら見直そうとしている姿勢を大いに評価します。                   |         |

|      |              |       |                 |   |                                                       |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |   |  |                                                                                                                                                                               |
|------|--------------|-------|-----------------|---|-------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育活動 | 生徒指導         | ⑦     | いじめの未然防止        | 全 | いじめの未然防止に努めることができたか。                                  | B | 年3回のアンケートを実施し、いじめの抑止や早期発見に努めた。いじめ等事案の情報は、全職員で共有し担任、学年を中心に丁寧に指導、支援を行った。生徒指導通信、きずなメール、クラス掲示プリントでの啓発活動をおとして、引き続きいじめの未然防止に努めていきたい。                                                                                                                                                                               | 4 | 3 |  | ・生徒のSOSを的確に把握し、相談できる体制の充実をお願いします。                                                                                                                                             |
|      |              | ⑧     | 教育相談体制          | 全 | 校内の教育相談体制がうまく機能したか。                                   | A | 担任・学年・係が情報を共有し、外部専門機関と連携を図りながら、生徒・家庭への支援を行うことができた。教育相談係とさらなる情報共有の体制をとりながら、次年度は定期的な情報共有の機会を持ち、生徒理解のための連携を密にしていきたい。                                                                                                                                                                                            | 7 |   |  | ・明るく元気に高校に通っている姿や充実した活動をしている姿を見て、丁寧に日々対応してくださっていることが伺えます。これからもよりしくお願いします。                                                                                                     |
|      |              | ⑨     | 家庭との連携          | 全 | 家庭との連絡を密にし、生徒指導に生かすことができたか。                           | A | 普段から担任がこまめな家庭連絡を行っており、保護者とともに問題行動事案に迅速に対応することができた。次年度以降も継続していきたい。                                                                                                                                                                                                                                            | 7 |   |  | ・地域を支える人材育成にこれからも期待します。                                                                                                                                                       |
|      | 進路指導         | ⑩     | 進路情報の提供         | 全 | 進路情報の提供が適切になされ、生徒の進路意識を高めることができたか。                    | A | 校内の掲示板や進路通信を発行するなど進路意識を高めた。また、進路ガイダンスを実施するなど進路実現に向けての道筋を示した。次年度も担任や生徒から広く意見を吸い上げ、より適切な情報提供に努めていきたい。                                                                                                                                                                                                          | 7 |   |  | ・小論文対策講座はとてもよい。                                                                                                                                                               |
|      |              | ⑪     | キャリア教育の充実       | 全 | 将来を見据えたキャリア教育とインターンシップを積極的に推し進められたか。                  | A | 農業科・商業科ともに春休み等に現場での先進的実習を紹介し、進路実現に寄与していく。<br>2年生を対象に須坂市主催の地元企業紹介事業を実施し、職業観の醸成を図った。3月には例年どおり就業体験を実施する予定である。<br>進路希望に沿った講師に本校にいたいただき、自己理解や社会人としての在り方を考えることができた。また、1・2年生公務員志望者を対象にした外部講師の講習会も定期的の実施できた、次年度も継続していきたい。                                                                                            | 7 |   |  | ・創造工学科以外でもデュアルシステム同様の取組み(短時間にしても)の導入ができないか検討してほしい。                                                                                                                            |
|      | 学校行事         | ⑫     | 学校行事の運営         | 全 | 創成フェア、課題研究発表会が各学科において意義ある行事となったか。                     | B | ・創成フェア:昨年を上回る来場者数と売上高を計上した。各学科で展示・販売・実演をおとして、学びを深めることができた。SDGsやエシカルについても学びを深め、新たに地域、企業、近隣小学校との取組みをおとして相互理解(異年齢交流)を深めることができた。今後は、より一層生徒一人ひとりが生き生きと活動し、成長できるようにしていくと共に広く創成高校をアピールする場として活動意欲を高めていきたい。<br>・課題研究発表会:学校評議員・市役所産業振興部担当者をばしめ、多くの関係者の皆様、須坂東高校生徒・職員のみなさんに参加いただいた。次年度以降も広く地域の皆さんへの広報をし、活動報告の場を増やしていきたい。 | 6 | 1 |  | ・創成フェアを通じて、学校の魅力を小中学生へ伝えてほしいと思います。<br>・コロナ後の学校行事、部活動の活性化に期待します。<br>・森上小学校(小学生)との協働(学び合い)は、とてもよい。<br>・生徒目らが、課題意識・目標をもって取り組んでいる姿がとても素晴らしいと思います。対応してくれた生徒の皆さんは、とても親切であり好感が持てました。 |
|      |              | ⑬     | 生徒会行事の活性化       | 全 | 生徒会役員が広い視野を持って様々な活動を企画・運営し、個々の生徒が参加、活躍できるような場を提供できたか。 | A | ・執行部(役員)を中心に自主的活動ができた。文化祭では、感染症・熱中症対策のためリモートで各クラスに配信した。<br>・執行部運営・創成祭企画書導入等、生徒会活動の土台作りができた。次年度は、さらに発展できるように取組んでいきたい。                                                                                                                                                                                         | 7 |   |  | ご意見・ご提言はありませんでした。                                                                                                                                                             |
|      |              | クラブ活動 | クラブ活動の活性化       | 全 | 運動系クラブの練習が円滑に行えたか。                                    | A | 各クラブ、充実した活動を行った。県大会において上位に進出するクラブが増え、北信越大会出場に繋げることができた。今後も継続していきたい。                                                                                                                                                                                                                                          | 7 |   |  | ご意見・ご提言はありませんでした。                                                                                                                                                             |
|      |              |       |                 | 全 | 文化系・専門系クラブ活動が充実、活性化したか。                               | A | 各種競技大会・コンクール、総合文化祭に出場した。農業クラブの全国大会優秀賞の受賞、珠算電卓部の全国大会団体戦・個人戦の上位入賞は際立った。また、創成祭や創成フェアにおいて日頃の活動の成果を発表することができた。次年度は、さらに充実した発表にしていきたい。                                                                                                                                                                              | 7 |   |  | ・各種大会等の活躍は、日々の活動の充実だと思っています。                                                                                                                                                  |
| 学校運営 | 地域との連携       | ⑮     | 中学生に対するPR       | 全 | 体験入学等の機会を通じて中学生を広く集め、本校に対する理解を深めることができたか。             | B | 中学生体験入学・公開授業は、昨年より多くの方に参加していただき、肯定的な感想を寄せてもらった。今後も学校紹介ビデオの活用をはじめ、中学校への広報活動の充実を図り、本校に対して理解が深まる方策を講じていきたい。                                                                                                                                                                                                     | 4 | 3 |  | ・興味のある学科に入れるといい。<br>・日常から須坂市内の小中学校と活動を共にする機会があるとなお良いと思います。また、小中高生を交えたプロジェクトがあるといい。                                                                                            |
|      |              | ⑯     | 地域への広報活動        | 全 | 公式Webサイトや広報紙を利用して本校の活動を適切に情報発信できたか。                   | B | ホームページのリニューアルを図り、より分かりやすい情報発信を心がけた。また、新聞社取材などをおとして、本校の特色を発信した。昨年度から開始した学校公式SNSの充実を図り、さらに広報活動に力を入れていきたい。                                                                                                                                                                                                      | 4 | 3 |  | ・学校での各種取組や生徒の成果等、外部への積極的な情報発信をお願いします。                                                                                                                                         |
|      |              | ⑰     | 生徒の校外活動の充実      | 全 | 地域との連携による生徒の自主活動ができたか。                                | B | 多くの連携行事に参加し、積極的に地域の方々と関わることもできた。須坂市役所・NPO法人等から講師を招き、地域課題に対する問題意識を持ち、各自が地域活性化に取組む探究的な学習活動ができた。今後も引き続き、地域の方々と関わっていきたい。                                                                                                                                                                                         | 5 | 2 |  | ・地域との協働について、生徒に考えさせ、家庭でも話題になるように取組をお願いします。                                                                                                                                    |
|      | 運組<br>営<br>織 | ⑱     | 総合技術高校の運営       | 全 | 3学科を備えた総合技術高校としての学校運営が適切になされたか。                       | B | 今年度から3学科合同の課題研究が実施されるなど、学科連携を進めることができた。学科連携科目や校外課題研究発表会などでも連携し、3学科を備えた総合技術高校としての学校運営の充実を図っていきたい。                                                                                                                                                                                                             | 5 | 2 |  | ・創成高校ならではの取組に期待します。                                                                                                                                                           |
|      |              | ⑲     | 特別支援教育等に関する事例研修 | 全 | 事例研修に基づく共通理解を持ち、実践につなげることができたか。                       | B | 職員研修や事例をおとして、特別支援教育や合理的配慮についての理解を深めることができた。人権教育映画鑑賞会を全校生徒に実施した。引き続き人権教育の充実を図ってきたい。                                                                                                                                                                                                                           | 4 | 3 |  | ・さらに取組みを進めていただきたい。                                                                                                                                                            |